

# 平成 24 年度 4 月 1 日訓示

平成 24 年 4 月 2 日

礼文町長 小 野 徹

みなさん、おはようございます。いよいよ平成24年度の始まりであります。

まず、新採用の皆さん、おめでとう。

昨今の大変厳しい経済情勢の中で、皆さんは大きな夢と希望を持って公務員の道を選ばれたわけであります。心からお祝いを申し上げますとともに、若さあふれるフレッシュな感覚を発揮し、わが町の活力を出していただくことを期待しているところでございます。

まずは、「おはようございます。どちらにご用ですか？」

「こんにちは。どんなご用件ですか？」と役場に来られた皆さんに気持のよい挨拶を欠かさないこと、窓口に来られた方には必ず声をかけることを忘れないでいただきたいのであります。

どうぞ、サービス業の精神を持って、気持のよい接遇や電話での対応に心がけていただきたい、そして、一日も早く仕事に慣れ、「町民みなさんの幸せのために頑張れる役場職員」

「元気な礼文づくりを推進するリーダー」になってほしいと願っております。

この春 4 人の退職者があり、6 人の新規の町職員が採用されました。このため、さきほど、辞令を交付させていただきましたように、小幅ではありますが人事異動を行ったところであります。

動いた人、動かなかった人とありますが、動いたから意味があり、動かなかった人には意味がないのではありません。人事異動には、動いた人、動かなかった人それぞれに意味があるのでございます。そのことを十分に認識していただいて、それぞれの部署で町民の皆さんの幸せのために活躍されるよう願っております。

さて、いよいよ新年度が始まりました。

今年の「仕事始め」に私は「今の日本は、国内に TPP への参加問題や消費税増税問題などの対立を抱え、さらに未曾有の東日本大震災の復興や原発事故収束の道筋さえも見えない混沌としたなかで、政治も経済もお手本やモデルが見当たらないままに立ちすくんでいる状態であり、私達公務員にとって今年も厳しい時代の続く幕開けとなった。

でも、こんな時だからこそ、地域との「絆」が感じられるような温かい役場、暖かい行政を行なってほしい。法律は人々を幸せにするためにあるはずで、私たちも、その幸せのために働いている。だから、ささやかでもいい、直面した問題を解決できるのは「自分だ!」という自負心を持つ腹構えで問題解決にあたってほしい。」と申し上げました。

その気持ちは今も変わらないところではありますが、NHK朝の連続テレビ小説「カーネーション」をご覧になった方もおられると思います。

「カーネーション」は3月31日で終わりましたが、このお話のサブタイトルは「あなたの愛は生きています」というもので、この中で92歳の主人公が云った言葉が私の心に響いているのであります。

それは「<sup>あた</sup>与<sup>う</sup>うるは<sup>しあわ</sup>受<sup>あ</sup>く<sup>せ</sup>るよりも 幸<sup>せ</sup>せなり」の言葉であります。

この言葉は、主人公が90年を超える長い人生を振り返って「自分のために何かを成そうとしたときは失敗が多かった。それとは逆に、人様のために何かを成そうとしたとき、それは案外とうまくいった。」と自分の人生を<sup>かえり</sup>省<sup>か</sup>み<sup>え</sup>ています。

そして、「誰もが常に強い気持ちを持てるわけではない。ただただ必死に生きたとき、凶らずも、人間の心は、本当に強いものだったと今になって振り返ることができる。」とも述べられています。私たちは、この主人公の言葉をよくよくかみしめていかなければならないと思います。

人は誰でも自分がかわいいのです。しかし、だからと言って人との<sup>いさか</sup>諍いを避け、自分の殻の中に閉じこもってしまっ  
ては何もしないのと同じことです。そして、そのことが結局は人様のことに無関心になり、自分にも甘くなってしまうのでございます。

でも、私たちは、このお話の主人公のように、それよりも人様のためを考え、友達の喜ぶ顔、子供たちの輝く笑顔、お年寄りの喜ぶ姿を思いながら、必死になってその人たちのためになることを行なっていたきたいのであります。

**「<sup>あた</sup>与<sup>う</sup>うるは<sup>う</sup>受<sup>う</sup>くるよりも<sup>しあわ</sup>幸<sup>しあわ</sup>せなり」**これが、いつも私が云うところの職員皆さんには「清く正しく美しく」あってほしいということであり、公務員として地域の人たちとの「絆」を強める道であると信じます。

さて、本町の総額 52 億 2700 万円という 24 年度予算は、礼文島に住む私たちみんなが元気を取りもどすためのお金です。

「礼文島の新たな挑戦プロジェクト」「礼文島いきものつながりプロジェクト」「夏観光復活への挑戦」「映画北のカナリアたち」「礼文高校の魅力づくり」「学校校舎耐震化事業」「新桃岩トンネル掘削工事」「港湾漁港の整備促進」などなど、24 年度も礼文島を元気にする取組がありますので、ぜひとも地域との「絆」を深めていただきたいと思います。

また、それぞれの部署に、それぞれ越えなければならない大きな課題があると思います。

新年度の予算編成の中で、お話をしたこと、あるいは、議会の予算審議の中で議論されたこと等々・・・解決のヒントはこれらの中に必ずありますので、各課各部署において意志の疎通を十分に図り、それぞれの課題解決に向かっていただきますよう、お願いを申し上げます。

責任はすべて私がとりますので、皆さんも、できることは一生懸命頑張ってください。でも、できないことがある

と思います。そんな時は工夫していただきたい。そして、それでもダメなときは決して、ひとりで悩まず、助けがほしいと伝える勇気をもって話をしてください。

職員の皆さんのチャレンジ、どんなに小さなことでもいいのです。そして、それを解決していこうとする前向きな取り組み、ひたむきな姿勢。

そのひとつひとつが積み重なっていくその先に、礼文町の未来が明るく開けていくことを私も信じております。

どうぞ、職員皆さんの頑張りとお更なるご支援ご協力を心からお願い申し上げます、新しい年度にあたっての訓示といたします。

平成24年度も、よろしく、お願いいたします。